

# かしま

# HOT 通信

## 12月号 Vol.335

令和2年(2020年)12月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室  
■発行/社団法人 養生会  
〒971-8143  
福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1  
tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ホームページ <http://www.kashima.jp>

かしま病院

検索



スマートフォンをご利用の方は、QRコードを読み取り、アクセスしてください。PCサイトと同じ内容がご覧頂けます。



ご意見・ご感想は...

上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。  
かしま病院広報企画室(江坂 宛)まで  
r-esaka@kashima.jp

### 巻頭特集

1  
2

『本誌「巻頭特集」から  
かしま病院の1年を振り返る』

3

経腸栄養関連製品の  
新規格製品への切り替えのご案内

コラム ひんがら目(162)

『自粛と GoTo の狭間で』

呼吸器科 部長 山根 喜男

4

ようこそ家庭医療へ!

リハビリPOST

クリスマスイルミネーションを設置しました

かしま荘通信

### 接遇研修 実施報告



## あいさつと電話対応

～コロナ禍での接遇を含めた研修会～



11月10日(火)と17日(火)に、当法人のコミュニティーホールで、新人職員等を対象に「あいさつと電話対応～コロナ禍での接遇を含めた研修会～」を行いました。マスク着用で表情がわかりにくいことやコロナ禍で面会制限中のためご家族との電話対応の機会が増えたことが実施の理由です。前半ではあいさつと電話対応のポイントを学び、後半ではペアを組んで電話対応の実践練習を行いました。

### 巻頭特集

## 本誌「巻頭特集」から かしま病院の1年を振り返る

1 月号  
January

### 令和2年養生会 年頭のご挨拶

1月は、毎年恒例となっている年頭のご挨拶でした。理事長、院長、看護部長の3名に前年の振り返りや、今年の展望などを含めた挨拶文を掲載しています。来月発行の令和3年1月号にも年頭のご挨拶を掲載予定ですが、今回はもう少し多くのスタッフの挨拶文を掲載するつもりです。お楽しみに。

HOT hot Tushin

## 12

月に入り、今年も残りわずかとなりました。皆さんは、どんな1年をお過ごしだったでしょうか? かしまHOT hot 通信では、毎月ピックアップした情報を巻頭特集として1、2ページ目に掲載しています。今回は年の締めくくりとして、今年1月から11月までの巻頭特集を振り返りながら、かしま病院の1年をまとめました。

Playback2020

2 月号  
February

### 院内ケアカフェ 「ひだまり庵」の 取り組み

令和1年7月から開店した、院内ケアカフェ「ひだまり庵」の特集記事です。ひだまり庵は、「患者さんが笑顔で過ごせる空間づくり」をコンセプトにした院内ケアです。今年には感染対策のため休止していた時期もありましたが、現在は規模を縮小して再開しています。今後の開催の形態や規模については、状況を勘案しつつ患者さんに満足していただけるような体制を検討しています。



3 月号  
March

### 第95回常磐医学会へ 参加しました!

～演題発表者による参加報告  
常磐医学会の歴史～

令和2年2月8日に開催された常磐医学会は、医師や医療専門職がそれぞれの活動や研究結果を発表する、70年余りの歴史がある学会です。当院からは計7名が演者として発表しました。当院認定看護師チームは、最優秀賞である常磐医学会会長賞の受賞をしました。学会では、専門職の特長を發揮した事例はもろろの事、幅広い職種に有益な情報もたくさんありました。このような学会が、いわき市全体の医療の発展や質の向上につながっているのだと思います。



4 月号  
April

**MR I装置の  
入れ替え工事が  
完了しました。**

令和2年3月7日に当院のMR I入れ替え工事が完了しました。旧MR I装置の解体場面、新MR I装置の組み立て場面、設置後の全体像の写真など、普段なかなか見ることができない部分を掲載しました。新MR I装置は、閉塞感の少なさや検査時の静音性が向上しています。



もし当院でMR I検査をする機会があれば、その性能を実感してみてください。

5 月号  
May

**新任医師紹介**

中山晴夫先生、  
佐々木聡子先生  
(後期研修医)

令和2年4月1日より入職された、中山晴夫先生と佐々木聡子先生の2名の医師紹介の特集記事です。福島県の人口10万人あたりの医師数は47都道府県中41位であり、いわき市は福島県の平均値をさらに下回っています。そんな中で2名の医師が入職となり、第一線で診療にあたっています。当院では、医療提供体制の充実のため医師求人専門サイトを立ち上げました。同サイト内では、病院の様子をお伝えするブログを随時更新していきます。(下記QRコードよりご覧いただけます。)

6 月号  
June

**かしま病院感染対策チーム  
ICTについて**

ICTとは、「感染対策チーム」のことです。感染対策という、やはり今年は新型コロナウイルスが思い浮かびますね。その対策の実働チームとして活動する4名のスタッフにインタビューをした記事です。感染対策の立案と職員、患者さんへ周知することや、感染症全般の多くの情報の中から正確なものを抽出して伝えることも重要な活動の一つです。12月に入りインフルエンザの流行も懸念される時期になっており、現在も感染対策の中心となって活動しています。

7 月号  
July

**かしま病院の  
給食ができるまで  
栄養課の紹介**

当院の給食は、栄養課が中心となり、メニュー作成、調理、配食、食器洗浄まで全て院内で完結しています。一連の流れはしっかりとシステム化されており、安心して給食を食べることが出来る体制です。季節の節々にある行事食にも力が入っており、患者さんからも好評です。おいしい食事を安心して食べてもらう。当たり前の事かもしれませんが、その裏で多くのスタッフが尽力していました。



8 月号  
August

**新型コロナウイルス  
に係る体制変更  
について**

診療体制の変更や面会制限の実施など、感染対策のための変更の一部をまとめました。ICTによる情報収集や、変更内容の院内外への周知によって、比較的スムーズに変更できたかと思えます。入院患者さんへの面会禁止は、当記事作成中の11月20日現在も継続しており、皆様には大変ご不便をおかけしております。面会等の対応が変更になる場合、ホームページにて随時お知らせします。



9 月号  
September

**システム管理課の  
ご紹介**

急速に進むオンライン環境整備への対応に欠かせないシステム管理課の特集記事です。今年には院内のネットワーク環境を整備し、オンラインで会議や研修ができる体制を構築するのにも大活躍でした。いまや病院でも欠かすことができないIT系の職種ですが、なんと2名体制で病院全体のシステムを管理しています。今後も進んでいくデジタル化にあたって、システム管理課はさらに重要になっていくと思います。



10 月号  
October

**健康診断を受けよう  
いわき市の各種成人  
健康診断の案内**

いわき市のけんしんの検査項目、料金、受診方法をまとめた特集記事です。けんしんは多くの検査項目があり、年齢や性別、検査歴等によって受診できる項目が異なります。病気の予防や早期発見ができれば、いわゆる健康寿命を延ばすことに繋がります。お近くの医療機関でもけんしんを受けられることができますので、受診をご希望の方は一度相談してみてくださいいかがでしょうか。



11 月号  
November

**病院で行う総合診療  
かしま病院のこまごまの  
歩みと病院総合医**

先月は、初代理事長の総合診療の理念を基に診療にあたること、当院の病院総合医を中心にした特集記事でした。当院は2020年4月に日本病院総合診療医学会より認定を受け、福島県初の病院総合医認定施設となりました。幅広い健康問題に対応できる病院総合医の育成は勿論のこと、ひいてはいわき市全体の医師不足の解消を目標として医療体制の充実に入力していきます。



HOT hot Tushin

**巻頭特集から、かしま病院がどんな病院なのか、どんな取り組みをしているのか、少しでも伝われば幸いです。過去に発行したHOT hot通信(バックナンバー)は当院ホームページに掲載しておりますので、いつでもご覧いただけます。巻頭特集だけでなく、ひんがら目など恒例のコーナーもおすすめるので、気になる記事があったらぜひ確認して**

みてくださいな。来年も、かしま病院をもっと知ってもらえるように情報をお伝えしていきますので、HOT hot通信をよろしく願います。

ほっとほっと  
**かしま HOT hot 通信の**

バックナンバーは、  
ホームページから。



**医師求人専門サイト**

ブログ随時更新中、  
医師以外の方への  
情報も掲載！









# ようこそ 家庭医療へ!

～ いわきに生きる家庭医育成への挑戦～

医療現場では患者さん達が抱える多くの苦悩に遭遇します。患者さんを人として理解することを目指す総合診療医にとって、これらの苦悩は、丁寧に向き合うべき大切な健康問題です。

苦悩とは、病気そのもの、あるいは病気が引き起こす症状のみならず、それによって失われた人としての自立性や完全性の喪失がもたらす苦しみであり、生きがいを失った苦悩、罹患の不条理さへの苦悩、将来の不確実性への苦悩などがあります。苦悩は、個々の患者さんの事情により異なり、検査で異常が見つかったり、一定の治療法が存在するわけでもないの、通常の診断・治療のプロセスでの解決は困難です。

世界の家庭医療の父 Ian R. McWhinney は「医師の人生において中心となる仕事は、病気を理解することと人間を理解することです。病気になっている人を理解することなく病気を十分に理解することはできないので、この2つの仕事は分けることができません」と語っています。患者さんの苦悩に対応する際、その苦悩を受け止め、病気が患者

## 第130回 苦悩と希望

診療部 石井 敦



さんにとって持つ意味を理解し、患者さんの傍らに寄り添い、患者さんが希望を見出すための支援を行う精神面のアプローチが重要です。

総合診療医は、患者さんとの対話の中で見えてきた患者さんの人となりや生活状況、人生観などをふまえて、患者さんが、生きる希望、未来への希望、苦悩を通じて深まった自己理解や死生観を通じ、自分の人生に対して新たな意味を見出す希望を抱くことを支援できるように努めます。そして、過去の苦しみからも逃れられず、将来に何も期待できず、どうしても希望を抱くことが難しい状況であっても、簡単には諦めず、一緒にきれいな景色を眺めたり、くだらない冗談を言ったり、法律に触れない範囲で滑稽な格好を試みたり、せめてその瞬間だけでも笑って、小さな希望を見つけることができるようお手伝いを続けていきたいと考えています。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



第117回

### 退院に向けての取り組み

今回はリハビリ目的に入院された患者様の退院に向けた取り組みや流れについて説明していきます。当院ではリハビリ目的に入院された患者様に対して、医師、看護師、ソーシャルワーカー、リハビリスタッフで一つのチームを組み、患者様の入院後の治療計画を立てます。

まずは入院時にチームでの話し合いをもち、おおよその経過、入院期間、退院先などを検討します。その後はチームでの話し合いを毎月1回行い、リハビリの進行状況を検討に加えて、入院時での話し合いの内容を修正しながら退院状況を探っていきます。退院される患者様の中には後遺症を残したまま退院される方も多く、そうなるご家族の負担も少なく、その点には十分に留意してチームでの話し合いを進めています。

リハビリが進み退院時期が近くなると医療チームは必要に応じて退院調整を行っていきます。退院調整とはご家族への自宅での介助法を指導することや家屋の環境調整を行うこと、介護サービスをどうするかということを決めていくことですが、自宅以外の施設入所を希望される方に対しては施設(場所、料金、リハビリの有無など)の提案をして、施設入所の手続きをしていきます。

退院後に介護保険サービスを利用される患者様に対してはケアマネジャーと連携しデイサービスや通所リハビリ、訪問リハビリ、ホームヘルパー等の利用をご家族と患者様本人と共に検討していきます。当院では通所リハビリテーション、訪問介護リハビリテーションを有しており病院から自宅へのスムーズな支援体制を図れ、医療・介護・福祉の領域から支援できるシステムが整っております。今後も患者様が安全に生活できるよう医療スタッフが連携し支援していきます。

理学療法士 藤森 夕歌



## かしま荘通信

### 面会全面禁止のお知らせ (12月1日～)



当法人では現在、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、面会に関しては人数や時間を限って予約制で実施していましたが、首都圏での新型コロナウイルス感染症の拡大状況ならびに市内での発生を踏まえ、面会の全面禁止を実施させていただくこととなりました。ご家族様には大変ご心配をおかけいたしますがご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。利用者様のご様子など気になることがあればお気軽にご連絡ください。

社会福祉法人養生会 かしま荘 ☎0246-58-8271

## Xmas イルミネーションを設置しました!

期間：令和2年12月1日(火)～25日(金)  
時間：17時00分～20時00分



病院玄関前のロータリーにおいて、12月中の期間限定でイルミネーションを点灯しています。

患者さんやご家族の方にクリスマス気分を楽しんで癒しになっていただけたら幸いです。